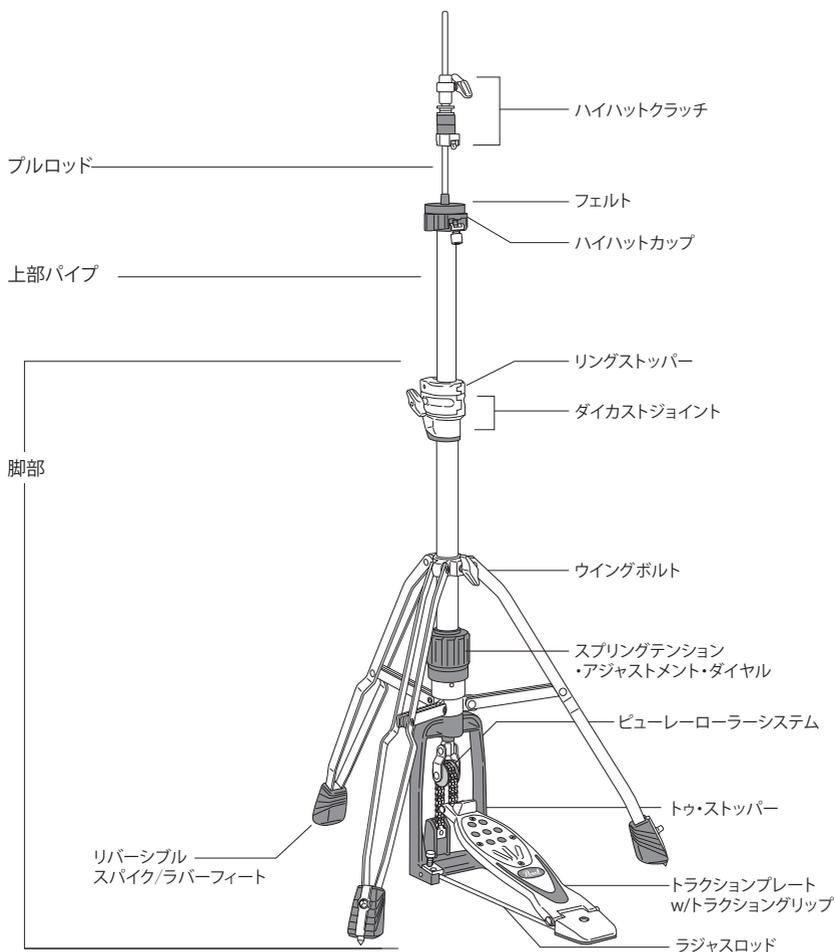


PEARL HI-HAT STAND

H-1000K

取扱説明書

この度は、H-1000K ハイハットスタンドをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



フットボード&三脚部のセッティング

フットボード下のラジャスロッドの先端(左右とも)をメインポストの接続部(穴)に差し込みます。次に三本のレッグを開き、メインポストが垂直に立っていることを確認したら、ウイングボルトを締めて、脚部を固定します。(図1)

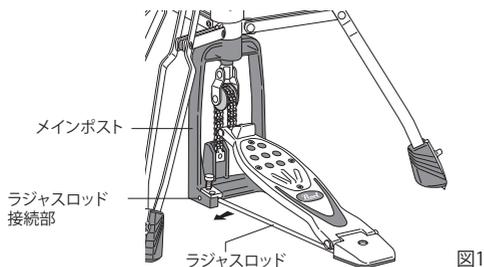


図1

スィーベリングレッグ

三脚部は自由に回転させることができるため、ツインペダルをセッティングする際には便利です。ウイングボルトを緩めれば、レッグは簡単に回転します。(図2)

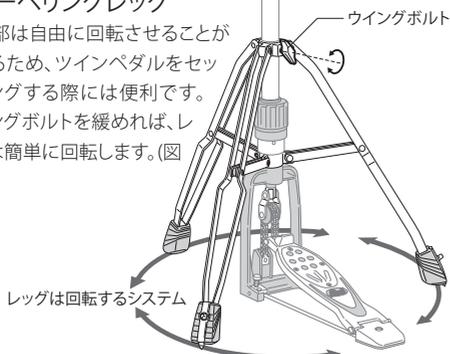


図2

<注意>
演奏の前に必ず三脚部の安定を確かめてください。

リバーシブル・スパイク&ラバーフィート

レッグ先端は、床の状況に合わせて、ラバーチップとスパイクが選べます。スパイクが楽に回転できるようになるまでキーボルトをゆるめ、スパイクを回したら再びキーボルトをしっかりと締めてください。(図3)

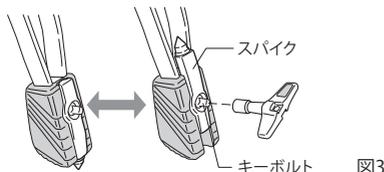


図3

<注意>
レッグ先端のスパイクを使う際は、床に傷がつくので、カーペット等を敷くことをおすすめします。また、スパイクは尖っているため、人を傷つける恐れがあります。取り扱いには十分気をつけてください。

上部の組み立て

脚部のダイカストジョイント内のプルロッド先端のコネクターに、上部のプルロッドをねじ込んで接続し、ロックナットとコネクターでしっかりとロックします(図4-A)。上部パイプをダイカストジョイントに差し込み、ボトムシンバルをハイハットカップにのせ、トップシンバルはハイハットクラッチの2枚のフェルトワッシャーの間にはさみ、裏からボトムナットで固定し、プルロッドの間にさみ、裏からボトムナットで固定し、プルロッドに上から差し込みます。(図の4-B/4-C)ハイハットスタンドのペダルを踏み込み、上下のシンバルに適度な隙間ができる位置でハイハットクラッチのウイングボルトを締めて、トップシンバルを固定します。なお、リングストッパーはセッティング位置の目安となるので、シンバル全体の高さが決まったら固定します。最後に、ダイカストジョイントのウイングナットを締めて、上部の組み立ては完了です。

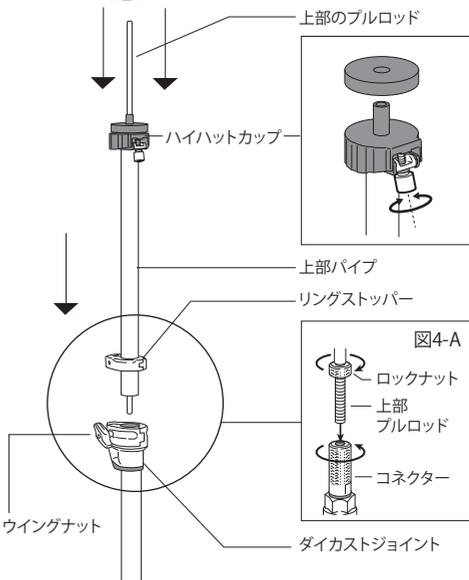
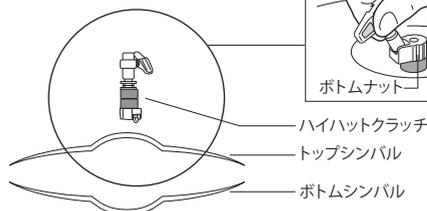
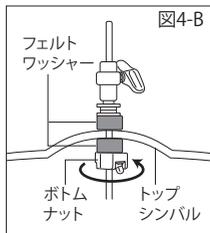


図4-A

ハイハットカップ角度調整

ノブを回してカップを傾け、上下のシンバルの中の空気のこもりを解消します。(図5)

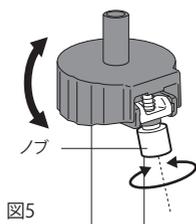


図5

スプリングのテンション調整

締めやすい大型ダイヤルで幅広いスプリングテンション調整ができるシステム。小刻みに回転/ストップを繰り返し、その変化を見ただ目で確認することができます。(図6)

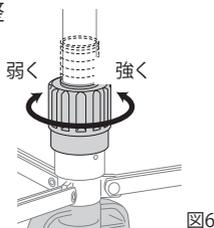


図6

フットボードアングルの調整

フットボードの角度(踏み込みの深さ)を変えるには、チェーンエンドコネクターのキーボルトを緩め、チェーンエンドコネクタを上下させることによって、フットボードアングルを変えることができます。

角度が決まったら再びキーボルトを締めて固定します。(図7)

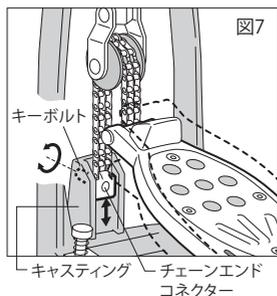
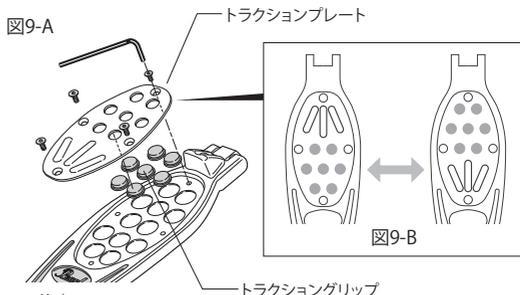


図7

トラクションプレート / トラクショングリップの設定
フットボードに埋め込まれたトラクション・プレートのストッパー(トラクション・グリップ)は、個別にとりはずすことができるシステムのため、好みのパターンに変えて、フットボード表面の滑り具合の微調整をすることが可能です。ストッパー(トラクション・グリップ)をはずす際は、付属の六角レンチでトラクション・プレートをはずしてから行なって下さい。(図9-A) またフットボードのパターンを上下逆にする場合には、トラクション・プレートははずし、方向を変えて再び固定して下さい。

(図9-B)



<注意>

トラクション・プレートの4本のネジは必ず均等に締めてください。片締めをして無理にネジを締めると、プレート、ネジ、さらにはフットボードを破損するおそれがあります。

また、4本のネジは常に点検し、ゆるんだら六角レンチで締めてください。

トラクション・プレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

<その他の注意>

各部の組み立てについて

セッティングに慣れていないうちは、脚部全体を床に寝かし、メインポストにラジャスロッドを差し込む方法もお試しください。(図10)

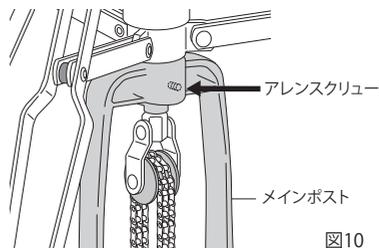


図10

演奏後の収納について

演奏後は、当マニュアルの『脚部の組み立て』の項目を参照し、逆の手順で各部をばらしてください。

パイプ固定用のアレンスクリュー

図のように、脚部のパイプはアレンスクリューで固定されていますが、演奏中の振動でゆるむおそれがありますので、必ず点検し、よく締めてください。

潤滑油の供給

チェーンやボルト、ナット、ヒンジなどには、まめに油をさすよう心掛けてください。

※H-1000Kは、フットボードを本体から取り外すことにより、チェーンを傷めることなく収納することができます。フットボード裏側のチェーン固定部のキーボルトをゆるめれば、フットボードはチェーンから分離します。また、次回のセッティングにキーボルトが必ず必要ですので、紛失しないようご注意ください。

(図11)

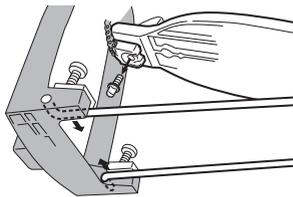


図11

<注意!>

- ホーローネジがゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、チェーン、カムローラー、フットボードヒンジなどの可動部分には時おり注油(グリス等)して下さい。
- ベアリングへの注油に、粘性の低い潤滑油のご使用はお控えください。

- フットボードヒール裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。
- その場合は湿らせた布等で拭き取って下さい。

Pearl

パール製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111 (代)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan 2005